

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			十分なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3		児童数にあった配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			スロープや手すりを設置している。 敷き詰めている絨毯の角が曲がっているところがあるので、平らにしたい。 車いす用のトイレがある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	3		OODAループの活用も意識している。 PDCAサイクルに交えてOODAループも活用していく。 パート職員も多く、全員が集まることは難しいので、プリントなどで周知することもよいと思う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2		アンケートを元に改善策を話し合いたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			HPを定期的に公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		4	今後の課題であるが、積極的に取り組みたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		支援終了後の余りの時間で研修をしている。 研修や話し合いの時間を設けている。 課題プリントを行い、職員内で話し合い、答え合わせを行っている。
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			分析をし、話し合いながら作成している。 現状を報告しあい、本児にあった目標を立てている。 普段の様子、保護者からの話を踏まえてモニタリング会議を行い、計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			使用している。周知するよう徹底したい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		レクリエーションという形でプログラムを組んでいる。 日直がその日のプログラムを組んでいる。 日直が一日の流れを決め、職員間で話し合いや意見を言い合いをし、決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			レクリエーションの内容が被らないように工夫している。 児童にあったレクリエーションを考えている。 職員が当番制で活動が固定化しないように配慮している。

な 支 援 の 提 供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2	1	課題の設定はしているが、同じ内容が続いている。今後定期的に見直していく。 1日の流れは決めるが、場合によっては変更するときもある。 利用時間の長さに応じて活動内容を決めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			個別支援と集団活動を組み合わせ、プログラムを考えている。 本児の特性に合った活動ができるようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			朝礼時に1日のスケジュールを日直の人が確認し周知している。 運行にミスがないよう確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2		終了後の振り返りは、毎回していない。毎回行えるように余裕を持ちたい。 その都度起きたことを職員間で話し合っている。 「常時」ではないが、必要な時は必ずしている。 保護者から聞いたことやレクリエーションでの様子などを共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			毎日の出来事を記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			定期的に職員全員参加で現状、本人の課題、支援することを話し合っている。 半年に1度モニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5			基本活動を理解し支援を行っている。 特性に合った支援をしている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			児童発達支援管理責任者が出席しているが、その前にモニタリングを行って、他の職員の声が伝わるようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			学校からの引き渡し時に教諭から情報を提供してもらい共有している。また、学校主催の担当者会に参加している。 保護者伝えで学校のおたよりをもらい、下校時間を把握しミスのないようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			5	医療的ケアが必要な児童の受け入れはしていないが、今後必要が出た場合検討していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			5	今後、必要時に共有するようになりたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			5	今後、必要時に共有するようになりたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		2	必要時に参加しているが、今後も引き続き積極的に参加、連携していきたい。 助言を求めて連絡を取ることがある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	現状交流はないが、規模を縮小して実施したりと工夫していきたい。 公園など外出先で関わることは稀にある。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			5	管理者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時、お迎え時に様子を伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			5	今後、研修に参加するなど、検討していきたい。 良いことも悪いことも伝えるようにしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時や個別支援計画の説明時に行っている。 内容の説明をし、理解してもらえるようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			相談は積極的に受け、助言を行っている。また、職員間での共有も行っている。 話を聞き、改善できるよう職員内で共有
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	情勢を見て今後検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			体制を整備し対応している。 同じことがないよう、共有している。 迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			事前の予定の告知は行えていないが、2カ月に一回、おたよりを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			鍵のかかる書庫に収納している。 個人に知りえた情報は話さないよう徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			障がいの特性をよく把握したうえで、保護者に対し配慮している。 少しでも保護者と話す時間を設けている。 連絡ノートを活用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	地域住民との交流ができていない。機会がをとりえて参加、交流を持っていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1		マニュアルを作成し周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			訓練を定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			定期的に行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			契約時に同意書の作成はしているが、計画書には記載はない。今後、記載していく方向である。 保護者と支援員とで話し合いを行い、やむを得ない場合の確認をしている。

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	保護者伝えで情報の共有を図っている。また、エピペンなどの講習も行った。事業所にマニュアルをおいてある。おやつにアレルゲンがないか確認して提供している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		作成し、職員全員で共有している。

児童デイSES藤枝あおじま校